

## 香川大学防災士養成講座で「災害と保険」について講演

～ 近年の自然災害に備える保険について説明 ～

日本損害保険協会四国支部委員会(委員長:横山 功・あいおいニッセイ同和損保株式会社執行役員四国本部長)では、日本損害保険協会が掲げる第9次中期基本計画の柱のひとつである「災害に強い社会の実現」を目指し、11月12日に香川県高松市で開催された香川大学公開講座「防災士養成講座」(※)で「災害と保険」に関する講義を行いました。

本講義では、日本の国土の特徴や近年の自然災害について触れつつ、自然災害の備えには公助・共助・自助があり、自然災害の被害を受けた場合、早期に生活再建ができるよう自助である経済的な備えが重要であることを説明しました。

また、自然災害に備える保険には火災保険、地震保険、自動車保険、傷害保険があることを説明し、火災保険による水災担保の必要性や、地震を原因とする火災は火災保険では補償されないこと等、注意点を交えながら保険の重要性を説明しました。

当支部では引き続き香川大学や香川県等と連携して地域の防災力向上に係る取組みを推進していきます。

(※) 令和5年度香川大学公開講座「防災士養成講座」の概要

講座は5日間の日程で、「災害ボランティア活動」「地震・津波への対策」「企業・団体の事業継承」等、計23テーマを履修すると防災士取得試験の受験資格を得ることができます。講師は、香川大学創造工学部危機管理機構、香川大学危機管理機構、香川県防災士会、高松市総務局危機管理課、香川県社会福祉協議会が担当します。

■日 時: 2023年11月12日(日) 11時10分～12時10分

■場 所: 香川大学創造工学部 3301 講義室(高松市林町 2217-20)

■講 師: 日本損害保険協会四国支部 藤田 昌弘



「災害と保険」について説明する藤田職員



会場の様子